

1 巻	くらい海	囧	賽子無宿	黒い縄	帰郷	恐喝	夜が軋む	割れた月	闇の梯子
	父と呼べ	密告	入墨	馬伍郎焼身	旅の誘い	鬼	おふく	霜の朝	時雨のあと
	穴熊	疑惑	冬の終りに			人殺し	朝焼け	神隠し	
2 巻	闇の穴	三年目	狂気	荒れ野	春の雪	遠い少女	昔の仲間	疫病神	夕べの光
	裏切り	閉ざされた口	冬の足音	暗い渦	うしろ姿	告白	捨てた女	夜の雷雨	暗い鏡
	冬の潮	意気地なし	秘密	しぶとい連中	石を抱く	暁のひかり	龍を見た男	夜の橋	かどわかし
3 巻	はしり雨	遅いしあわせ	泣かない女	贈り物	歳月	ちきしょう！	虹の空	運の尽き	おばさん
	亭主の仲間	時雨みち	幼い声	夜の道	怠け者	盗み喰い	滴る汗	追われる男	おさんが呼ぶ
	禍福	おとくの神	失踪	帰ってきた女	おつぎ	逃走	夜消える	女下駄	遠い別れ
	鬼ごっこ	冬の日	寒い灯	にがい再会	永代橋	踊る手	消息	初つばめ	遠ざかる声
4 巻	暗殺の年輪	冤罪	おうの	鬼気	恐妻の剣	紅の記憶	潮田伝五郎置文	証拠人	十四人目の男
	そそのかす	竹光始末	ただ一撃	果し合い	一つぶの爪	へそまがり新左	密夫の顔	桃の木の下で	雪明かり
	夜の城	乱心	鱗雲	遠方より来る	山姥橋夜五ツ	雪間草	夢ぞ見し	闇の顔	帰還せず
5 巻	麦屋町屋下がり	悪癖	梅香る	榎屋敷宵の春月	小川の辺	子鶴	三の丸広場下城とき	切腹	飛べ、佐五郎
	泣くな、けい	泣く母	弾む声	花のあと	一夢の敗北	報復	孫十の逆襲	木綿触れ	山桜
6 巻	玄鳥	三月の鮪(ハヤ)	闇討ち	浦島	みそさざえ	又蔵の火	逆軍の旗	相模守は無害	二人の失踪人
	上意改まる	幻にあらざ	長門守の陰謀	振子の城	飛ぶ猿	二天のあなぐら	死闘	夜明けの月影	師弟剣
	1～6巻の短篇作品数=9×17-3=150篇								
7 巻	雲奔る 小説・雪井龍雄		回天の門 (清川八郎)						
8 巻	一 茶		白き瓶 小説・長沢節						
9 巻	用心棒日月抄		狐剣・用心棒日月抄						
10 巻	刺客・用心棒日月抄		凶刃・用心棒日月抄						
11 巻	消えた女・彫師伊之助捕物覚え			漆黒の霧の中で・彫師伊之助捕物覚え			ささやく河・彫師伊之助捕物覚え		
12 巻	春秋の檻・獄医立花登手控え		風雪の檻・獄医立花登手控え		愛憎の檻・獄医立花登手控え				
13 巻	人間の檻・獄医立花登手控え		闇の歯車		霧の果て				
14 巻	橋ものがたり		本所しぐれ町物語		喜多川歌麿女絵草紙				
15 巻	闇の傀儡師		春秋山伏記		・だんまり弥助・かが泣き半平・日和見与次郎・祝い人助八) 16巻短篇作品数=8篇				
16 巻	隠し剣孤影抄		隠し剣秋風抄		たそがれ清兵衛 (たそがれ清兵衛・うらなり与右衛門・ごますり基内・ど忘れ万六				
17 巻	密 謀		義民が駆ける		18 巻	よろずや平四郎活人剣			
19 巻	海鳴り		天保悪党伝		20 巻	風の果て		蟬しぐれ	
21 巻	三屋静左衛門残日録		秘太刀馬の骨		22 巻	市 塵	江戸おんな絵姿十二景・広重「名所江戸百景」: 短編集「日暮れ竹河岸」と同じ		
23 巻	周平独言		小説の周辺		ふるさとへ廻る六部の・・・		24巻短篇作品集=7篇		
24 巻	漆の実のみのる国		短篇:岡安家の犬・静かな木・深い霧・野菊守り・威丈夫・桐畑に雨の降る日・品川洲崎の男						
25 巻	早 春	半生の記	句 集	あとがき集	書 簡	詩 篇	捨 篇		
26 巻	無用の隠密(初期短篇):暗闘風の陣・如月伊十郎・木地師宗吉・霧の壁・老彫刻師の死・木曾の旅人・残照十五里ヶ原・忍者失格・空蟬の女・佐賀屋喜七・浮世絵師・待っている・上意討・ひでこ節・無用の隠密::15篇							帰 省	詩・選評集